

哲学カフェ (Café Philo) @ 名古屋 2013

シリーズ 「経済を問い直す」

第二回

書評カフェ 評価と贈与の経済学

成長しつづける経済社会の影で、経済至上主義的風潮の行く末に警鐘を鳴らす思想家・社会活動家たちが、いつの頃からか国内外で増えつつあるように思われます。こうした人たちは共通して、このままではいけない、という危機感を持ち、失われゆく人間性を取り戻せるような「あたらしい経済」ないし「あたらしい共同体のあり方」を模索しています。彼らの感じている危機とは一体何なのでしょう。今の経済のどこかが本当に「このままではいけない」のでしょうか。そして、かれらの処方箋のなかにその危機の克服につながるものはあるのでしょうか。

内田樹と岡田斗司夫 FREEex の『評価と贈与の経済学』という対談本でも、カジュアルな対話の中にこの同じ危機感が表れています。両氏は等価交換から贈与へ、クレジットから人間評価へ、という転換を呼びかけ、「家族のような共同体の回復」などの具体的なアクションを提唱しています。しかし、対談ゆえに、読みやすい一方で論旨の不明瞭さは否めません。二人の対談をもとに、現代経済が内包しているかもしれない人間の危機の本質とその克服の方法について、みんなで話し合ってみませんか？

哲学カフェとは？

カフェを会場とし、ドリンク代のみで自由に対話に参加できます。「進行役」は、参加者の議論を促すガイドの役割を担います。1992年にフランスで始まった哲学カフェは、現在、日本各地で広がりを見せ、「Café Philo (カフェフィロ)」はその推進のため組織されました。

- 日時: 2013年5月25日(土) 14:00 ~ 16:00
- 場所: カフェティグレ伏見店
名古屋市中区錦1丁目10-11、ユーキホテル1階
- 進行役: 安田清一郎 + 三浦隆宏(相山女学園大学)
- 主催: カフェフィロ (cafephilo.jp) (@cafephilo.jp)
- 問い合わせ: info@cafephilo.jp (三浦)